

※開催概要について

この資料は、勉強会の議論の状況を迅速に伝えるために、ファシリテーターがグループ討議の結果発表した内容等をファシリテーター及び事務局がまとめて整理したものです。個別の意見を示したものではありませんことをご了承ください。

沼津高架 PI プロジェクト

原地区第 4 回勉強会

開催概要

5 月 14 日（火）、原地区にて第 4 回勉強会が開催され、15 人が出席しました。

まず、事務局から第 3 回勉強会が出された意見を踏まえて修正した「戦略案（代替素案）の比較のための評価項目（案）」と、「地域づくりの戦略案（代替素案）図（案）」についての説明がなされ、これらについてファシリテーターの進行のもとグループ検討が行われました。

評価項目（案）に関する議論では、「地域づくりの目標」と「評価項目（案）」の項目が一对一で対応していない点に分かりにくいとの意見が出されました。

続いて、前回までの議論を踏まえて整理した地域づくりの戦略案（代替素案）については、さらなる提案として、東海大学跡地にて県が行っている医療系大学誘致の施策や、参加者から提案されている「健康文化タウン」も合わせて記載することや、原地区の中央部にスマート IC から海までの南北のエリアを設定して地域づくりを考えたい、などの意見がありました。

ここで、地域づくりの戦略案（代替素案）を比較する目的から、地域づくりの戦略案（代替素案）に描かれている内容を全く行わなかった場合についても想定して検討を行いました。東駿河湾環状道路等の開通に伴う通過交通の増加、雇用が生まれにくいことからくる若者離れ、高齢化のさらなる進行が懸念されました。

次に、地域づくりの戦略案（代替素案）にて様々な空間・機能・施設が提案されている原地区の西側ゾーンについて検討を行いました。新たな提案として、原地区の海の資源である亀の産卵の観察や地引網体験、バーベキューなどができる公園の整備、地場産の物品の販売が提案されています。西側ゾーンについては、貨物駅予定地に貨物駅が移転しない場合と移転する場合に分けて、それぞれ検討を行いました。

まず、貨物駅が移転しない場合については、広域から人を呼ぶ環境をつくるために医療施設や介護施設、高齢者ケア付きマンション、農業体験のできる場や研修センターなどを誘致が提案されました。その他、地元の人が子どもを連れて遊ぶことのできる駐車場の整備された公園が提案されています。また、これらの施設等を整備するにあたっては、広域からの来訪者を引きつけるためにも道路整備や駐車場、飲食店が必要だとの意見があります。さらに、津波被害への懸念から津波避難タワー等の対策も必要とされました。一方で、医療施設の誘致については、貨物駅予定地周辺が住宅地であることから、救急車のサイレンやドクターヘリの音がうるさく感じられるのではないかと懸念も出されました。いずれにしても、貨物駅予定地は空き地となった場合の有効活用策が重要とされました。

貨物駅が移転する場合には、周辺の道路整備や企業立地を期待する意見や、立地した企業がそれぞれ調整池などを整備することにより治水が進むのではないかと期待が出されました。さらに、貨物駅の管理塔を津波避難タワーとして活用することで津波対策が進むとの意見もありました。一方で、大型トラック等の往来が激しくなるのではないかと懸念が示されました。

次回（5 月 25 日（土））は、沼津駅周辺地区と合同にて勉強会を開催する予定です。